

—障害のある人たちとのコラボレーションで創る新しい舞台芸術—

「エイブルアート・オンステージ」 活動支援プログラム 2006年度報告会を開催

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 松尾 憲治）は、2004年7月から社会貢献事業としてNPOエイブル・アート・ジャパン（会長 嶋本 昭三）とともに「エイブルアート・オンステージ」を実施しています。当事業は障害のある人たちに演劇、ダンス、音楽などの舞台芸術の分野で自らを表現する機会を提供し、プロの舞台人やアーティストとのコラボレーションを通して、これまでに見たことのない表現や作品作りに挑戦し、新しい舞台表現の可能性を発見しようというものです。

今般、当事業で実施している3つのプログラム^(注)のうちの一つである活動支援プログラムに参加した全国の6つのグループの代表者が一堂に会し、ワークショップから地元公演までの活動プロセスや作品の映像を発表する「エイブルアート・オンステージ」活動支援プログラム2006年度報告会を開催します。

(注) 3つのプログラムの詳細は別紙をご参照ください。

「エイブルアート・オンステージ」活動支援プログラム 2006年度報告会の概要

- 日程：2007年6月2日（土）
13時00分～16時30分（12時30分開場）
- 会場：明治安田生命 MY PLAZAホール（丸の内 マイプラザ4階）
東京都千代田区丸の内2-1-1
- 主催：明治安田生命保険相互会社、NPOエイブル・アート・ジャパン
- 入場料：無料（事前申込制）
申込先：エイブル・アート・ジャパン
TEL 03-3364-2140 FAX 03-3364-5602
メール office@ableart.org
- 発表者：2006年度活動支援プログラム支援対象6グループ

グループ名	活動地域	表現ジャンル
あなざーわーくす	東京都	観客参加型演劇
ハート・アート・おかやま	岡山市	アートプロジェクト
劇団こふく劇場	宮崎市	演劇
Dance & People	尼崎市他	ダンスパフォーマンス
めくるめく紙芝居実行委員会	京都市	紙芝居をベースとしたパフォーマンス
こわれ者の祭典	新潟市	お笑いをベースとしたパフォーマンス

以上

「エイブルアート・オンステージ」は次の3つのプログラムの総称です

活動支援プログラム

- ・障害のある人が参加するさまざまな舞台芸術の取り組みに対して、上限150万円の支援金を提供するプログラムです。
- ・2004年度から5年間の計画で、毎年6～8グループを支援しています。
- ・支援対象者は各地でグループを立ち上げ、参加者募集、ワークショップやレッスンを実施、地元での公演を行ないます。
- ・活動終了後はすべての支援先が集まる活動報告会で、活動のプロセスや作品の映像を発表します。

コラボ・シアター・フェスティバル

- ・エイブルアート・オンステージに参加したグループの成果を多くの人に伝え、次につづくグループへの課題を提示する場です。
- ・エイブルアート・オンステージ実行委員のアドバイス等を踏まえて、地元公演で発表した作品のうちいくつかを、さらに発展させて上演したり、シンポジウムや展示などさまざまな方法で、各参加団体の成果を伝えます。
- ・ゲストや観客、新たに加わるスタッフとの意見交換などを通して、新しい舞台の在り方、創り方を共に考える場にもなります。

飛び石プロジェクト

- ・英国から2人の演出家を招き、さまざまな人たちとワークショップを通じて交流し、作品作りを行なうコラボレーションプロジェクトです。
- ・2006年2月から約2年間かけて、2人の演出家が交互に8回の来日を重ね、飛び石を置くように東京とそれ以外の地域でワークショップを繰り返します。
- ・さまざまな障害のある人や俳優などアーティストの出会いや発見から、障害の有無や種別、言葉や文化の違いも越えて、演劇の新たな可能性を探り作品化に挑戦します
- ・2007年10月にはこのプロジェクトを通して作り上げた作品を発表します。

実行委員：敬称略、順不同

木佐貫 邦子（舞踏家、桜美林大学助教授）

塚田 美紀（世田谷美術館学芸員）

永井 多恵子（財団法人せたがや文化財団理事）

野村 誠（作曲家）

平田 オリザ（劇作家、演出家、大阪大学コミュニケーションデザイン・センター教授）

吉野 さつき（ワークショップ・コーディネーター、アートマネージャー）

殿岡 裕章（明治安田生命保険相互会社常務執行役）

播磨 靖夫（エイブル・アート・ジャパン常務理事）